

2016(平成28)年度
法務研究科 法務専攻(法科大学院)B日程 入学試験問題

「小論文」

(90分)

(注意：解答はすべて解答用紙に記入すること。)

次の【文章】は、遠藤周作『勇気ある言葉』（集英社、1978年）に収録されている「錦の御旗」である（同書151頁～153頁）。

これを読んで、後記〔設問1〕及び〔設問2〕に答えなさい。

【文章】

問題文は、著作権の都合により掲載しておりません。
ご不便をおかけしますことお詫び申し上げます。

※出題に当たって、縦書きの原文を横書きに変更し、漢数字を算用数字に置換した。

【設問 1】 筆者が「錦の御旗」を「あまり好きでない」という理由を解答用紙 10 行程度で説明しなさい。

【設問 2】 各自の【設問 1】の解答（筆者が「錦の御旗」を「あまり好きでない」という理由）を踏まえ、2015 年を生きる「我々」が「痛撃を加えねばならぬ」と考えられる「錦の御旗の弊害」について、具体的な例を挙げつつ説明しなさい。

入試日程 B日程 出題科目名 小論文 _____

出題趣旨

「錦の御旗」に関する文章を素材として、(1) 筆者の主張をまとめてもらうとともに、(設問 1)、(2) 各自のまとめた (1) の筆者の主張を踏まえて、自らの主張を論じてもらうことにより (設問 2)、①相手方の主張を的確に把握する能力と、②相手方の主張を踏まえて、自己の主張を説得的に表現する能力を測ることを意図した出題である。

主として、(1) では、筆者の主張を正確・簡潔に要約することが求められており、(2) では、自身の設問 1 の解答を踏まえて論を進めること、自身の主張をわかりやすく述べること、適切な具体例を示すこと、主張の根拠を適切に提示することが求められている。